

〇〇〇〇〇〇〇〇 殿

---

日医による日医会員のためのレセコンソフト

# 日医標準レセプトソフト ご提案書

平成25年7月

株式会社コンダクト

# ORCAプロジェクトとは

(日医標準レセプトソフト)

- ・ 日本医師会の「医師会総合情報ネットワーク構想(1997年～)」の一環として2000年4月より開始された研究事業プロジェクト。
- ・ プロジェクトのメインコンテンツである「**日医標準レセプトソフト**(以下、日レセ)」はメーカ製と遜色のない仕上がりとなり、報告されたユーザだけで12,530医療機関を超えた。(2013年1月現在、移行中を含む)

## ORCAプロジェクトの方針

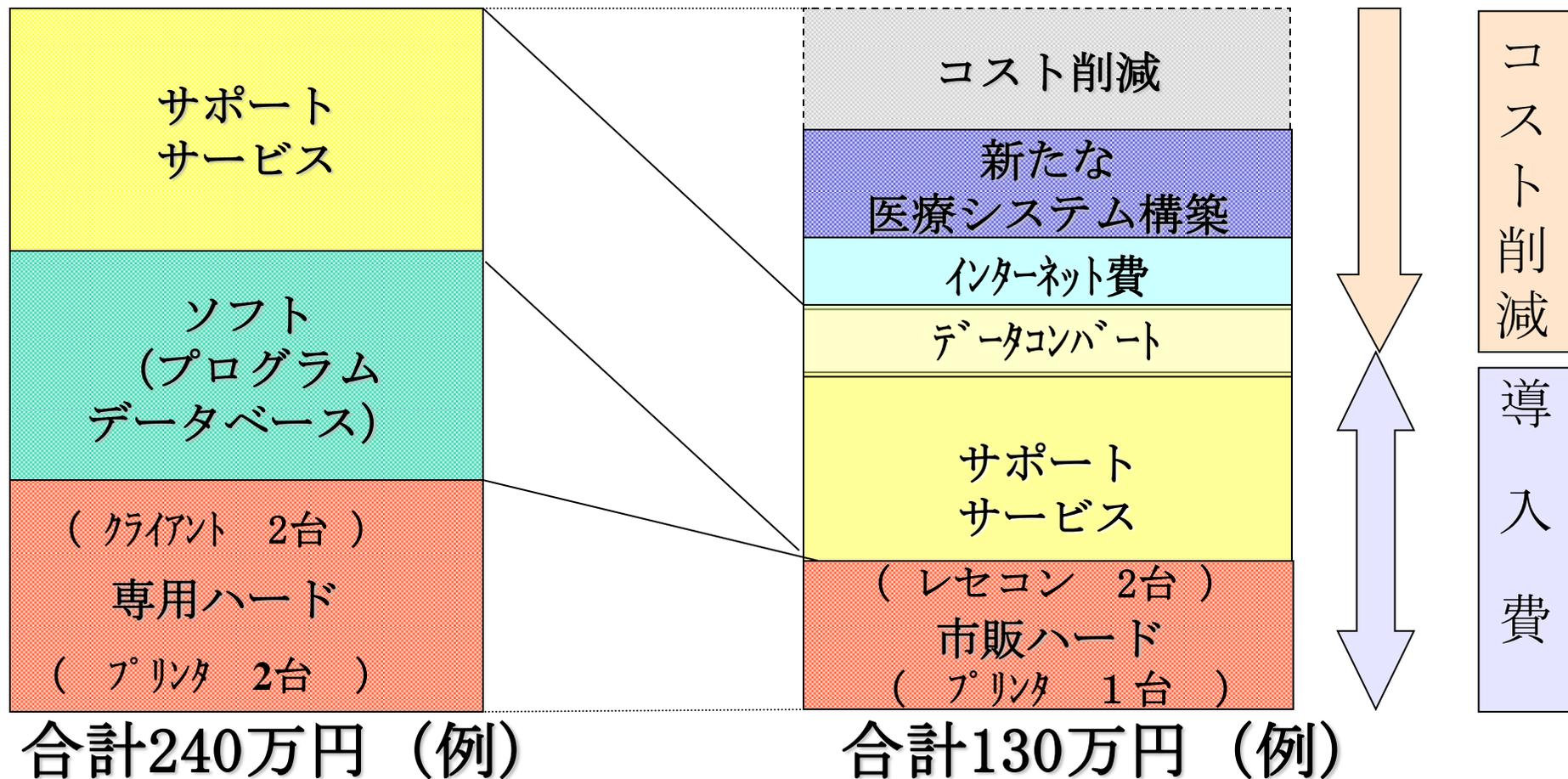
医療機関経営環境が悪化するなか、良質な医療を継続的に提供できるよう、医師や**医療機関内部の情報化**、そして **医療機関同士の情報交換**を支援する。

# 既存レコンと日医レコン費用比較

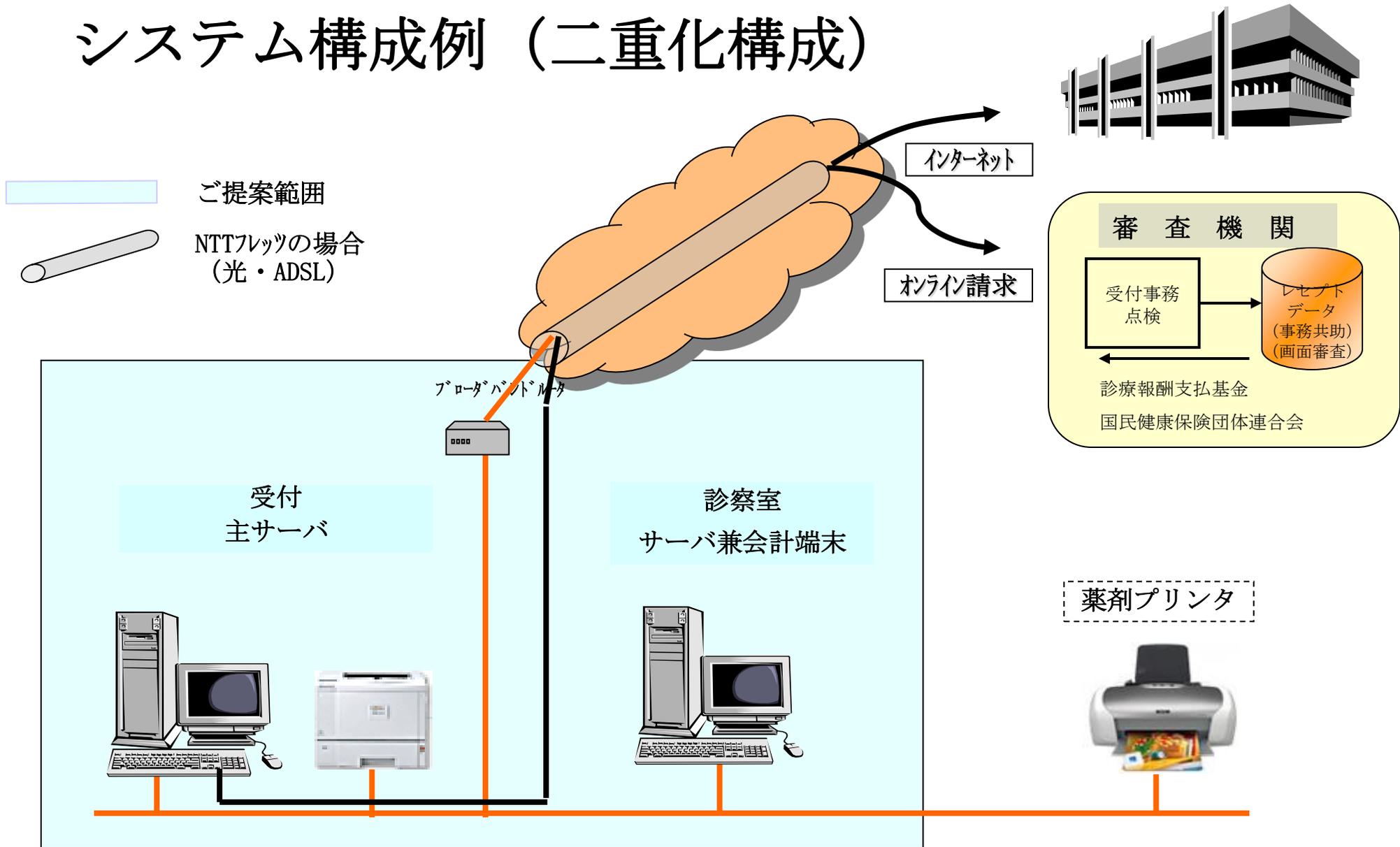
(一時導入費)

## 既存レセコン

## 日医レセコン



# システム構成例（二重化構成）

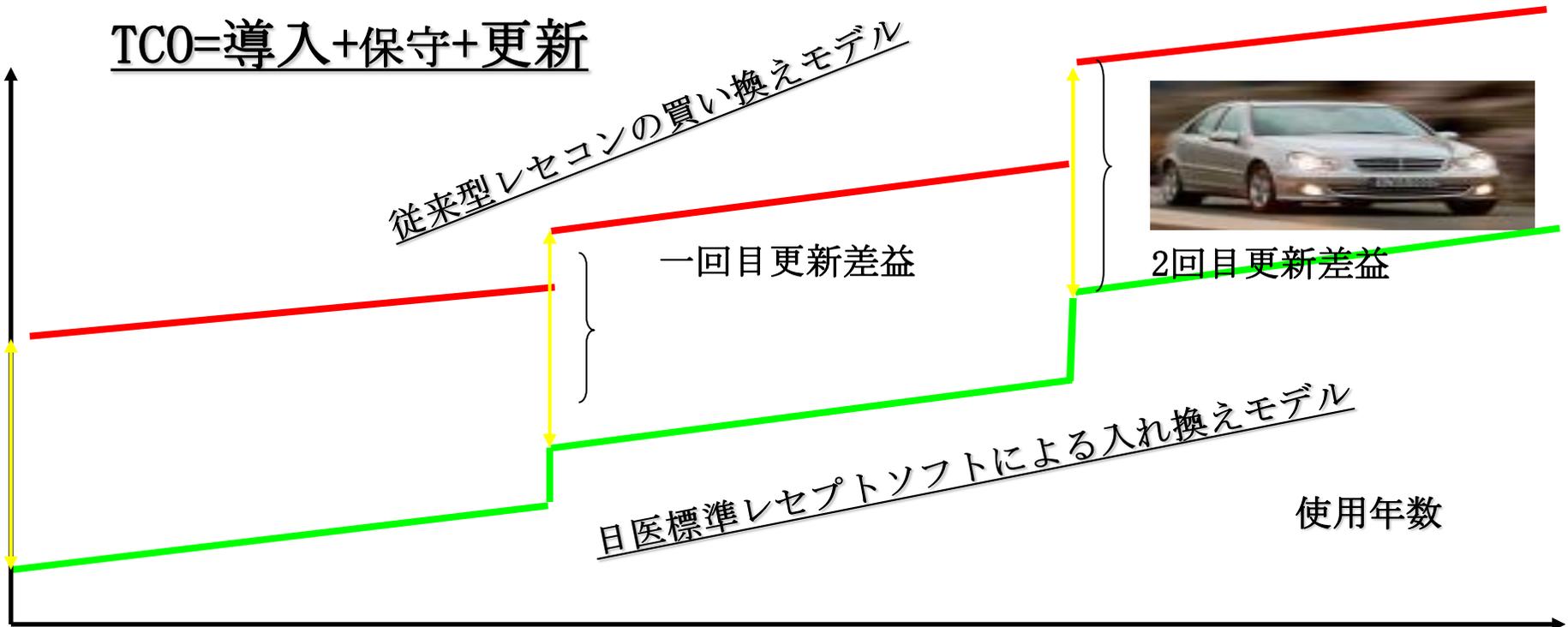


# 既存レコンと日医レコン比較

日医のレセコンを導入した場合の更新差益

(投資コスト比較 10年)

TCO=導入+保守+更新



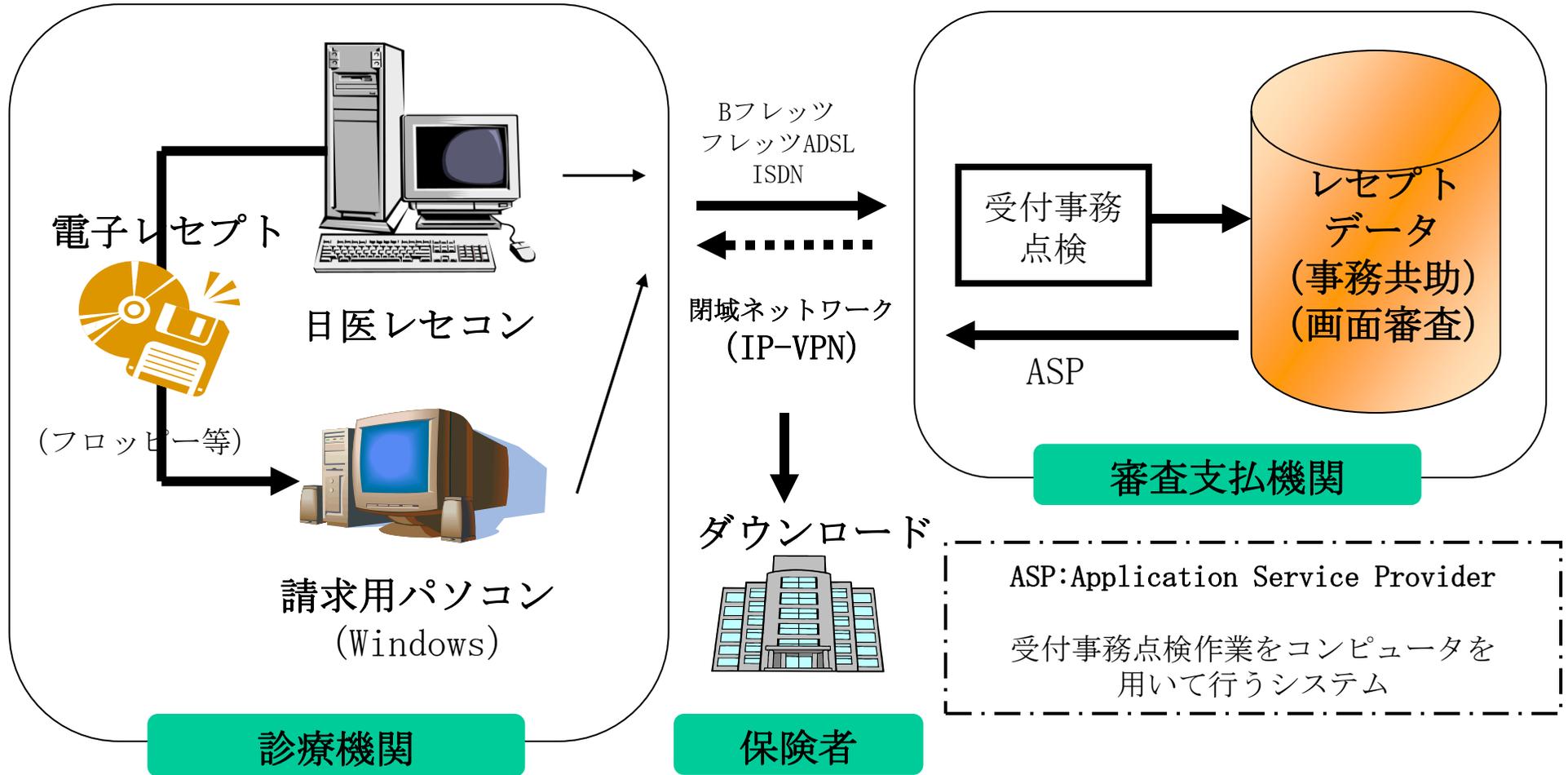
メーカー製レセコン 購入	ソフト更新時	メーカー専用ソフトの購入	メーカー専用ソフト購入
	ハード更新時	メーカー専用ハードの購入	メーカー専用ハード購入
日医レセコン 購入	ソフト更新時	購入不要	購入不要
	ハード更新時	家電量販店にて購入可能	家電量販店にて購入

1年目

5年目

10年目

# 日医標準レセプトソフトによる オンライン請求の流れ



# 既存レセコンと日医レセコンの構成比較

1. 既存レセコンは、メーカー独自の考え方でシステムを構築している。  
ハードウェア・消耗品の購入先が決まっている。・・・高額になる。
2. 日医のレセコンは、ユーザ様の考え方でシステム構築が可能である。  
ハードウェア・消耗品は汎用品を使用するため購入先が決まっていない。  
(従って、保守部品も汎用品になる。) ・・・安くなる。

## 1. 既存メーカーのレセコン

**導入時システム構成**

メーカーから2009年にレセプト購入  
メーカーハード ソフトの内容

- ・プログラム (2009年)
- ・法改正 (2009年)
- ・診療点数改正 (2009年)



**5年目システム構成**

メーカーから2007年にレセプト購入  
メーカーハード ソフトの内容

- ・プログラム (2009年)
- ・法改正 (2014年)
- ・診療点数改正 (2014年)



**10年目システム構成 (次回更新時)**

メーカーからレセ今購入  
メーカーハード ソフトの内容

- ・プログラム (2019年)
- ・法改正 (2019年)
- ・診療点数改正 (2019年)



## 2. 日医のレセコン

**導入時システム構成**

汎用ハードに日医レセコンソフト2009年購入  
汎用ハード ソフトの内容

- ・プログラム (2009年)
- ・法改正 (2009年)
- ・診療点数改正 (2009年)



**5年目システム構成**

汎用ハードに日医レセコンソフト2009年購入  
汎用ハード ソフトの内容

- ・プログラム (2014年)
- ・法改正 (2014年)
- ・診療点数改正 (2014年)



**10年目システム構成 (次回更新時)**

汎用ハードのみ購入  
汎用ハード ソフトの内容

- ・プログラム (2019年)
- ・法改正 (2019年)
- ・診療点数改正 (2019年)



システム更新はハード・ソフトを  
更新しなければならない。

ソフト更新を毎年実行する。

毎年ソフトが更新されているため  
ハードのみ更新すればよい。

# ORCAの初期導入サポートについて

弊社では、機器の導入・設置から日医標準レセプトソフト ORCA 本稼動までのスムーズな移行の為の教育まで、サポートを取り揃えております。

1. 弊社からご購入の機器にLinuxおよび日医標準レセプトソフトのインストール。（他社購入も可）
2. 既存システムからORCAへのデータ移行
3. 機器の設置、LAN環境の設定
4. 初期導入時指導 3日間 : その他 リモートによるサポート随時

## リモートメンテナンス&電話サポート

ネットワークメンテナンス用ブロードバンド環境を構築しリモートメンテナンスをいたします。

1. 各種メンテナンスを安全なネットワークを利用して行ないます。
2. リモートメンテナンス及び電話サポートは、日医標準レセプトソフトを安心してご利用いただくための必須サポートとさせていただきます。
3. リモート接続でのシステム対応により、問題の即時解決をはかることが可能です。

また、メールサービス・ホームページサービス・FAXでお客様への情報提供の一元化を図ります。  
(ネットワーク接続に関してのプロバイダ契約等はサポート費用に含まれておりません)

# 既存レセコンからの更新における流れ

既存システムからORCAに更新するための流れ

- |                                |                   |
|--------------------------------|-------------------|
| (1) 導入ヒアリング                    | (7) システム納品        |
| ・サーバを何台導入するか? ・クライアントを何台導入するか? | (8) 現地設定、動作確認     |
| ・インターネット接続回線の選定 ・院内LANの利用方法    | (9) 操作指導          |
| (2) 既存患者数の確認                   | (10) 入力練習         |
| (3) 既存患者データの抽出                 | (11) 既存レセコンとの平行稼動 |
| (4) システム構築 (コンダクト社内で実施)        | (12) 本稼動          |
| (5) 患者データの移行 (コンダクト社内で実施)      | (13) 1回目レセプト発行    |
| (6) 移行データの確認                   |                   |

株式会社 コンダクト

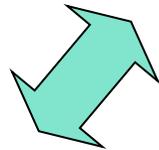
# リモートメンテナンスによるサポートとは？

インターネットを使ってリモートメンテナンスを行います。

- ・インターネット環境を使用してリモートサポートを行う（インターネットは使用いたしません。）



医療機関様



リモートによるサポートでこんなことができます。

- ・操作方法が不明の時などに、インストラクターが医療機関様へ訪問しているのと同じ環境で操作説明をさせていただきます。
- ・レセコンのソフトが改善された場合、新しいソフトが日本医師会より提供された場合に新しいソフトをインストールさせていただきます。
- ・法改正対応など。
- ・セットコード作成時など。

## リモート手順

- ・レセコンの画面にリモートメンテナンスのアイコンをクリックしていただくだけです。



- ・電話等によるお問合せがあった場合に弊社、インストラクターによるリモートによるサポートをさせていただきます。

(株) コンダクト

株式会社 コンダクト

# データチェック機能

## レセプトを印刷する前に入力項目のチェック

- 診療年月・入外区分ごとに、「確認項目」でチェックしたい項目を指定し、レセプト作成に際して不備があるかどうかをチェックすることができます。
- 選択した項目のデータ内容に不備があるものについては、「患者番号」「患者氏名」「年齢」データチェック内容が印刷されます。
- この処理はレセプト一括処理の前後どちらで行っても構いません。

## レセプトチェック指示画面

確認項目	
1. 保険者番号	2 確認 全印刷
2. 被保険者記号・番号	2 確認 全印刷
3. 公費負担者番号・受給者番号	2 確認 全印刷
4. 保険適応年齢	2 確認 全印刷
5. 患者病名	2 確認 全印刷
6. 診療開始日	2 確認 全印刷
7. 疑い病名・急性病名	2 確認 全印刷
8. 薬剤と病名	2 確認 全印刷
9. 診療行為と病名	2 確認 全印刷
10. 薬剤と併用禁忌	2 確認 全印刷
11. 診療行為の併用算定	2 確認 全印刷
12. 実日数	2 確認 全印刷
13. 患者氏名	2 確認 全印刷
14. 保険組合せ有効期間	2 確認 全印刷
15. 投与禁忌薬剤と病名	2 確認 全印刷
16. 診療行為どうしの算定漏れ	2 確認 全印刷
17. 病名と薬剤	2 確認 全印刷
18. 病名と診療行為	2 確認 全印刷
19. 薬剤の月上限回数・総投与量	2 確認 全印刷
院外処方処理	含まない

1. 保険番号チェック
  2. 被保険者記号・番号
  3. 公費負担者番号・受給者番号
  4. 保険適応年齢
  5. 患者病名
  6. 診療開始日
  7. 疑い病名・急性病名
  8. 薬剤と病名
  9. 診療行為の併用算定
  10. 薬剤と併用禁忌
  11. 診療行為の併用算定
  12. 実日数
  13. 患者氏名
  14. 保険組合せ有効期間
  15. 投与禁忌薬剤と病名
  16. 診療行為どうしの算定漏れ
  17. 病名と薬剤
  18. 病名と診療行為
  19. 薬剤の月上限回数・総投与量
- 院外処方処理

重要  
重要  
重要  
重要  
重要

# 法改正・薬価改正の対応方法

## 1. プログラム変更が伴う法改正

- (1) プログラム変更になるような法改正は、別紙「リモートメンテナンスの開く」をクリックする。
- (2) 診療時間外にコンダクト社内からプログラム変更をさせていただきます。
- (3) コンダクトが電源を切断し法改正対応完了です。



リモートメンテナンス



## 2. プログラム変更が伴わない法改正

- (1) マスタ更新をクリックする。
- (2) マスター更新管理一覧の「F12更新」を押下する。
- (3) 法改正対応完了です。

(M96)マスタ更新管理一覧

DB管理情報

ORCAver	構造ver(自)	構造ver(ORCA)	日付
040200-1	S-040200-1-20090424-2	S-040200-1-20090424-2	H21. 4.28

マスタ更新管理情報

マスタ	レコードver(自)	レコードver(ORCA)
点数マスタ	R-040200-1-20090515-1	R-040200-1-20090515-1
保険番号マスタ	R-040200-1-20090424-2	R-040200-1-20090424-2
システム管理マスタ	R-040200-1-20090326-4	R-040200-1-20090326-4
病名マスタ	R-040200-1-20090311-1	R-040200-1-20090311-1
チェックマスタ	R-040200-1-20090413-2	R-040200-1-20090413-2
一般老人置換マスタ	R-040200-1-20090212-1	R-040200-1-20090212-1
検査分類マスタ	R-040200-1-20090106-2	R-040200-1-20090106-2
相互作用マスタ	R-040200-1-20090410-7	R-040200-1-20090410-7
症状措置マスタ	R-040200-1-20090410-8	R-040200-1-20090410-8
保険者マスタ	R-040200-1-20090212-1	R-040200-1-20090212-1
住所マスタ	R-040200-1-20090515-4	R-040200-1-20090515-4
適応病名マスタ	R-040200-1-20090303-2	R-040200-1-20090303-2
一般名マスタ	R-040200-1-20090515-2	R-040200-1-20090515-2

マスタ更新JOB管理情報

処理開始	時間	処理終了	時間	step開始	step終了
H21. 5.29	13:22:20	H21. 5.29	13:22:30		
最新	H21. 5.29	13:22:20	H21. 5.29	13:22:30	

標準提供マスタ 前回処理分更新データはありませんでした。  
ライセンスマスタ 前回処理分更新データはありませんでした。

相互作用、症状措置、保険者マスタは  
(株) 社会保険研究所の著作物です。

F1 戻る F2 情報削除 F11 状況 F12 更新

# 日医標準レセプトソフトと連携 して運用可能な電子カルテ

## ご参考

1. DOCTOR'S DESK II (株式会社シィ・エム・エス)
2. アーチャンカルテL (株式会社アップルドクター)
3. WAVEカルテ (株式会社エヌ・ウェーブ)
4. E - 医キット mRec (株式会社久保田情報技研)
5. MALL (Medical Information System for ALL)  
(有限会社パシフィヒックシステム)
6. Dr. Board (株式会社メディーコール・ジャパン)
7. Wine Style (キワム電腦工務店)
8. Aits Karte (有限会社エイトス)
9. 電子カルテWINE (株式会社サン・ジャパン)
10. 電子カルテe-Clinic (株式会社ポテト)
11. REMORA (株式会社ピーエスシー)
12. RACCO (システムロード株式会社)
13. 電子カルテ Dr.CREDO (株式会社クレドメディカ)
14. 診療所向け電子カルテ Futureclinic21 (東日本電信電話株式会社)
15. 手書き電子カルテ「Dr.Pen Lite」 (オーメーイド創薬役株式会社)
16. OpenDolhin (株式会社デジタルグローブ)
17. MICS Carte (株式会社 アイレックス)

# コンバート可能機種一覧

バックアップデータ使用機種

2009年10月2日現在

メーカー	機種名	抽出データ媒体	患者情報 (保険・公費含)	患者病名	診療行為・薬入 力コード	自院病名 入力コード	最終来院日 (診療科履歴)
富士通	HOPE ST-3XXXシリーズ	バックアップ	○	○	○	テスト中	○
	SX-J	バックアップ	○	○	○	○	○
	SX-P	バックアップ	○	○	○	○	○
SANYO	MC-770系シリーズ	指定ツール	○	○	○	○	○
	Nwve/Epart/Exceed	バックアップ	○	○	○	○	○
東芝	TOSMEC-GX	バックアップ	○	○	○	○	▲
	TOSMEC-Mepio	バックアップ	○	○	○	○	○
日立	PAL	バックアップ	○	×	×	×	○

テキストデータ使用機種

メーカー	機種名	抽出データ媒体	患者情報 (保険・公費含)	患者病名	診療行為・薬入 力コード	自院病名 入力コード	最終来院日 (診療科履歴)
日立	メディカル8	TXT	○	●	×	×	△
NEC	Winiz	TXT	○	△	×	×	△
	MO ST	TXT	○	△	×	×	△
	Myprodoc	TXT	○	△	△	×	△
	Prodoc	TXT	○	△	△	×	△

○：変換可能 ▲：科別情報無（患者ごとに対する最終来院日1件のみ）

×：変換不可 ●：転帰のありなしにかかわらず、病名開始日が直近の5件まで

△：データの内容により、変換可否が異なる

テキスト出力問合せ先案内

メーカー	機種名	抽出データ媒体	問合せ先	ご担当者	連絡先
日立（旧:沖電気）	MOA	TXT	日本アドウェル	竹原様	TEL:086-246-9711
三栄メディシス	アクセプト	TXT	三栄メディシス	山中様	TEL:075-502-0066

◇コンバート可能機種は保証値ではなく、実績です。

◇データの内容によっては変換ができないケースがありますので、予めご了承ください。

株式会社 コンダクト

# 日本医師会総合政策機構の資格について

## 日医総研日医IT認定サポート事業所

認定サポート事業所認定番号	4071013
所在地	石川県金沢市高尾台1丁目423番地
認定事業所名	株式会社コンダクト本社

## 日本医師会総合政策研究機構認定者

氏名	業務内容	日医IT認定インストラクタ取得年	日医IT認定システム主任者取得年
<b>業務担当詳細</b>			
1. AAA AAAA	兼務	2006年	2006年
日医標準レセプトサポート開始時点より、システム構築・操作指導に携わってきたが、医事業務（介護含）へのご提案が出来るように、現在は日医標準レセプト・介護システム等のシステム全般のサポート業務。			
2. BBB BBBB	兼務		2007年
プログラム開発担当であるが、法改正時にご迷惑にならないようシステム主任資格を取得させシステムバージョンアップ業務に携わっている。			
3. CCC CCCC	兼務	2007年	
日医標準レセプトソフト営業担当であるが、他メーカーレセコンと日医標準レセコン操作性の違いが説明出来るようインストラクタ資格を取得。 日医標準レセプトソフト導入ユーザ様でコンピュータが苦手な事務担当者は、操作指導を多く希望されるため、営業中に立寄り指導をする。			
4. DDD DDDD	専任	2008年	2008年
日医標準レセプトソフトのシステム構築・操作指導の業務 及び 日医標準レセプトソフトの更新案内等の取りまとめ業務。日医標準レセプトソフトに関するカスタマイズ業務。			
5. EEE EEEE	兼務	2009年	2009年
日医標準レセプトソフトの取りまとめ責任者 日医標準レセプトソフトに関するカスタマイズ・他システムとの連携業務などの取りまとめ責任者			
6. FFF FFFF	兼務	2010年	2010年
日医標準レセプトソフト技術を取得し、弊社介護システムと日医標準レセプトソフトが連携提案が出来るように取りまとめ業務 及び 開発業務			
7. GGG GGGG	兼務	2010年	
弊社介護システムサポートセンタに医療事業者から医療業務についての問合せが多くなってきているため、医療事業者へのサポート支援窓口業務			

# サポート内容の考え方について 1 / 2

## 1、ハードウェアのサポート

1) プリンタの場合	
プリンタ保守の購入	「リコーあんしんパック 5年」を初期導入費用に含まれております。
プリンタ保守の内容	故障した場合、リコーあんしんパックに記載された期間中（5年間）は無償で現地にカスタマイズエンジニアを派遣し、何度でも修理を行います。 オプション・・・引取り修理または製品交換による対応も行います。
受付	コンダクト または リコー受付センター（0120-892-111）
受付時間	月曜日～土曜日 9時00分～18時00分
作業対応時間	月曜日～土曜日 9時00分～17時00分 カスタマイズエンジニア事務所 リコーテクノシステムズ
2) レセコン本体の場合	
パソコン保守の購入	「訪問修理（オンサイト保守サービス）5年間」を初期導入費用に含まれております。
レセコンの保守内容	「エプソン保守は、基本的に翌日修理になります」部品を準備する時間が必要。 但し 緊急の場合は、コンダクトが対応させていただきます。 日医標準レセプトソフトは、標準2台構成であり運用ストップをすることはありません。
受付	コンダクト または エプソンダイレクトテクニカルセンター（0120-228-149）
受付時間	月曜日～金曜日 9時00分～22時00分 土曜日、日曜日、祝日 9時00分～18時00分
作業対応時間	月曜日～金曜日 9時00分～17時00分
3) 緊急時の対応	
	現在は、ユーザー様に携帯番号をご案内しております。

消耗品は、含まれて降りません。

# サポート内容の考え方について 2 / 2

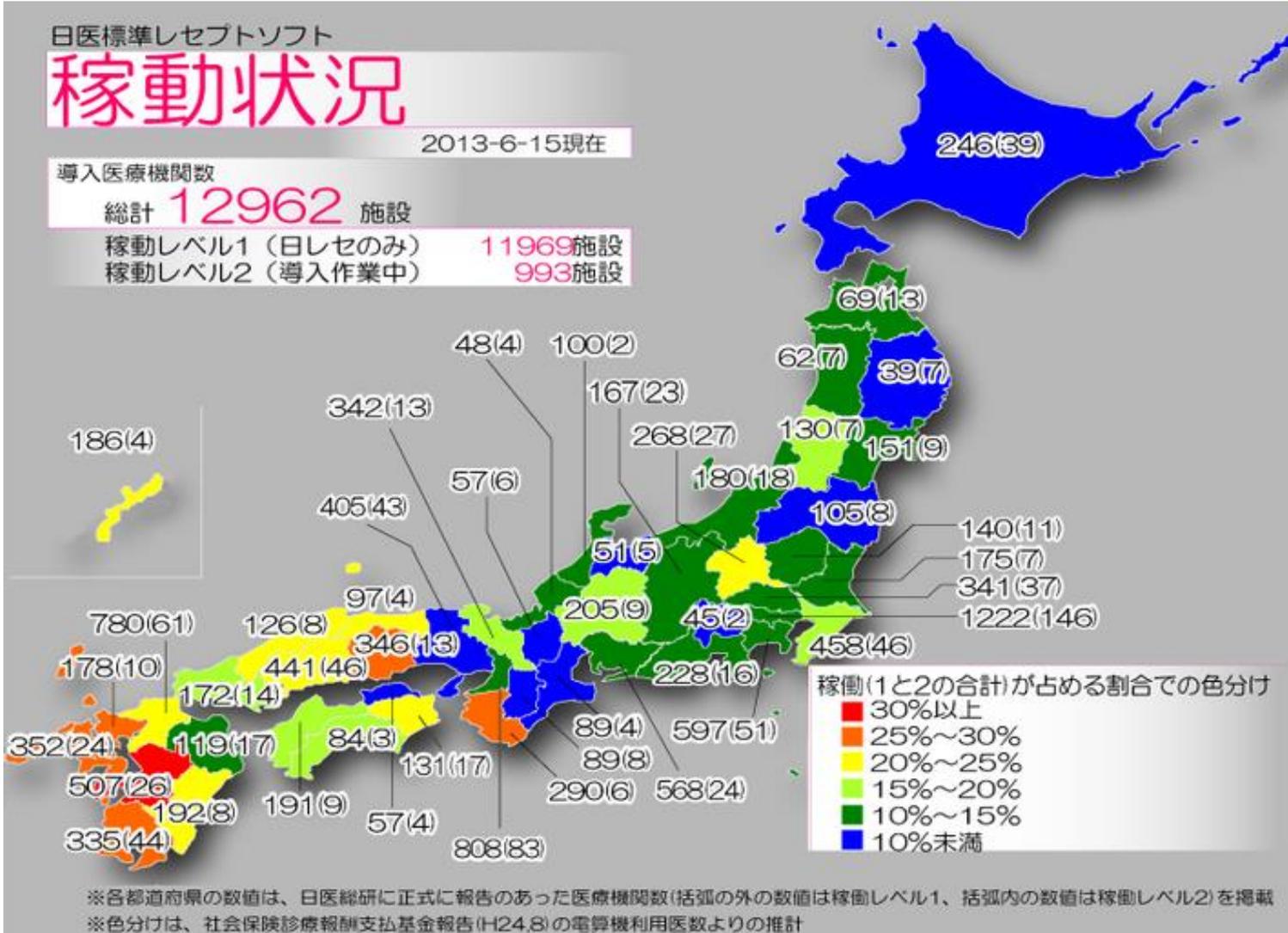
## 2. ソフトウェアサポートについて

初期導入サポート	L i n u x 及び日医標準レセプトソフトインストール作業
	既存レセコンからのデータ取得作業
	既存レセコンデータの日医標準レセプトソフトへのデータ移行作業
	機器の設置、LAN環境の設定作業
	運用操作指導
運用サポート手法 (リモートまたは訪問)	(運用業務が問題なく行うことが出来るようサポート)
	お問合せ時は、リモートメンテナンスまたは電話によるサポート支援を行います。
	事務担当者等が交替された時の操作指導。
	法改正・薬価改正・日医標準レセプトソフトのバージョンアップ・その他・医事業務にかかわるご案内。
	薬価改正作業
	法改正に伴うプログラム更新作業
	日医標準レセプトバージョンアップ作業
	L i n u x のバージョンアップ作業 バージョンアップ作業時間は、数日間必要とするため、引取り作業になります。

# 日医標準レセコンの導入状況

日医標準レセコンの利用者は、昨年より今年に掛けて激増し、今年6月15日現在 **12962** ユーザになっております。

**12962**ユーザ<sup>\*</sup>（2013年6月15日現在）から**12078**ユーザ<sup>\*</sup>（2012年6月15日現在）1年間における増加数 **884**ユーザ<sup>\*</sup>



病院診療所別稼働数 H23.2.15現在

	導入	準備中	合計
無床診療所	8357	659	9016
有床診療所	1129	90	1219
病舎	374	40	414
合計	9860	789	10649

診療科別稼働数(複数カウント)

診療科	導入中	%
内科	6823件	22.22%
精神科	566件	1.84%
神経科	280件	0.91%
神経内科	282件	0.92%
呼吸器科	742件	2.42%
消化器科	1237件	4.03%
胃腸科	1279件	4.16%
循環器科	1379件	4.49%
小児科	2521件	8.21%
外科	3256件	10.60%
整形外科	1833件	5.97%
形成外科	198件	0.64%
美容外科	62件	0.20%
脳神経外科	220件	0.72%
呼吸器外科	52件	0.17%
心臓血管外科	37件	0.12%
小児外科	105件	0.34%
皮膚泌尿器科	38件	0.12%
皮膚科	1236件	4.02%
泌尿器科	453件	1.48%
性病科	34件	0.11%
こゝろ科	495件	1.61%
産婦人科	358件	1.17%
産科	145件	0.47%
婦人科	619件	2.02%
眼科	1387件	4.52%
耳鼻いんこう科	686件	2.23%
気管食道科	81件	0.26%
放射線科	568件	1.85%
麻酔科	343件	1.12%
心療内科	441件	1.44%
アレルギー科	576件	1.88%
リウマチ科	493件	1.61%
リハビリテーション科	1600件	5.21%
その他	284件	0.92%

株式会社 **コンダクト**

電話 **076-296-3330**

医療情報システム 営業担当

高木忠昭 森善克

<http://www.conduct.co.jp/>